

2024年

10/5 (土)

～

11/10 (日)

9:00～18:00

古城江観
スケッチ展

パリ・フランス



『ノートルダムよりセーヌ上流を望む』

(部分) 1928年頃

2019年の大火災で焼け落ちたノートルダム大聖堂の尖塔の先には、2024年パリオリンピックの開会式会場セーヌ川が描かれています。

会場：高尾野支所エントランス

ホール及び高尾野図書館

入場無料

2024 古城江観 スケッチ展

パリ・フランス

古城江観は1928(昭和3)年から翌年にかけて、フランスに滞在します。

この間、パリで単独の個展を開催し、各種公募展にも出品して、2つのサロンに入選しています。

今回、高尾野郷土館・古城画伯コレクション館の収蔵品の中から、フランス滞在中にパリやフランス各地をスケッチした作品を展示いたします。

この夏開催されたパリオリンピックの開会式会場となったセヌ川、同じく本市出身の一山麻緒選手が走ったマラソンコース近くにあったトロカデロ宮(現シャイヨー宮)、2019年の大火災で壊滅的な被害を受けたノートルダム大聖堂など、いろいろなエピソードと異国情緒にあふれたスケッチをお楽しみください。

また、100年近く前に遠い異国の地で、独り絵画の道を追いかけた古城江観の心情にも思いを馳せていただければ幸いです。

《会 場》 出水市役所高尾野支所エントランスホールと高尾野図書館

《開催期間》 2024年10月5日(土)～11月10日(日)



古城江観 略歴

- 1891(明治24)年 高尾野町麓に生まれる。本名「三之助」。
日本画を志し、黒田清輝に認められ、東京美術学校教授の福井江亭、山元春挙に日本画を学ぶ。
- 1921(大正10)年 第3回帝国美術展出品作『筏2題』は英国王室所蔵に。
- 1923(大正12)年 東南アジアなど旅行(～1927)
- 1927(昭和2)年 ヨーロッパなど旅行(～1932)
- 1932(昭和7)年 アメリカなど旅行
戦後、千葉県市原市の美術会会長、文化財保護、ロータリークラブ、美術家連盟員を務める。
- 1973(昭和48)年 高尾野町に作品や収集品を寄贈
- 1988(昭和63)年 千葉県市原市にて永眠。97歳。

高尾野郷土館・古城画伯コレクション館



古城江観「海の王子 イタリアヴェニス」

出水市指定文化財

1階は、古文書などの歴史資料と、農具や漁具などの民俗資料が約1,400点、2階は、古城江観氏寄贈の絵画作品や世界各地の民俗資料など約700点が展示されています。

電話 0996-82-1467

休館 毎月第3金曜